

# 2000年度環境活動ダイジェスト

当社における2000年度及び2001年度上期(2001年4月～9月)の環境活動の中で主な活動結果を紹介します。

## クボタ地球環境憲章の改訂

1992年に制定した地球環境憲章を関連会社を含めたクボタグループを対象とした憲章に改訂しました。

P6

## クボタ環境自主行動計画

2001～2005年度までの5ヵ年計画として具体的な全社の環境基本計画を策定しました。

P8

## 環境調和製品・サービスの提供

各事業分野において数々の技術・製品を開発しました。

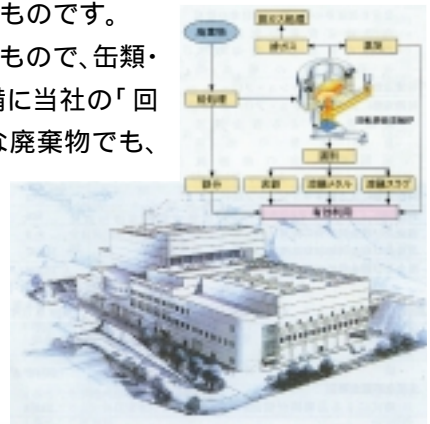
ここでは香川県豊島における環境修復事業について紹介します。

P10

当社は、2000年12月、瀬戸内海の直島(香川県)における廃棄物中間処理施設建設工事の正式契約を締結しました。直島近くに位置する豊島には、過去長期間にわたり不法投棄された産業廃棄物が存在しており、この工事はその豊島に残存する産業廃棄物などを処理するために施設を建設するものです。

豊島内の廃棄物は、主に自動車スクラップ工場からの廃棄物を野焼きしたもので、缶類・汚染土壌なども混在していますが、当施設の主要設備となる焼却・溶融設備に当社の「回転表面溶融炉」を採用したことにより、一般的には処理の難しいこのような廃棄物でも、含まれているダイオキシン等を熱分解しながら安定的に溶融処理をすることができます。

当施設はこのように環境負荷を可能な限り低減し、また、焼却・溶融による副生成物もリサイクル可能な品質に転換できるなど、循環型社会へも適合しています。



## ISO14001 認証取得

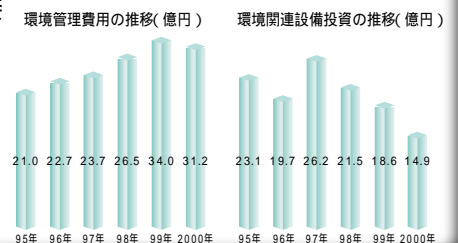
2000年度末までに国内全20事業所においてISO14001を認証取得する目標を達成することができました。

P28

## 環境会計

2000年度の環境管理費用は31.2億円、環境関連設備投資は、14.9億円、環境管理活動に伴う直接効果は23.5億円でした。

P29



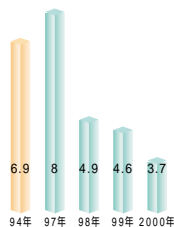
## ゼロ・エミッション化 (産業廃棄物の埋立ゼロ)対策

1994年度基準2000年度に産業廃棄物の埋立て等処理処分量を30%削減する目標に対し、46%削減することができました。

再資源化率は前年比1.7ポイント向上し、78.7%となりました。

その結果、7事業所でゼロ・エミッション化を達成することができました。

産業廃棄物処理・処分量(万t)



P31

## 大気・水質管理

法・条例規制値よりも厳しい自主基準値に対し、超過した値はありませんでした。

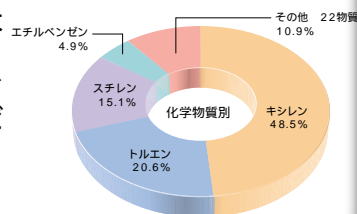
P37

## 化学物質管理

PRTR法第1種指定化学物質354物質の内、当社で使用している届出対象物質

は26物質です。排出・移動量の多い物質はキシレン、トルエン、スチレン、エチルベンゼン等です。

化学物質排出・移動状況



P40

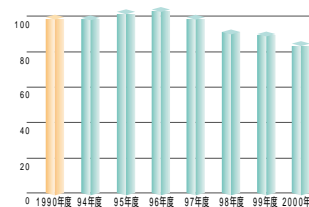
## 省エネルギー対策

1999年度からスタートとした第3次省エネルギー活動は、改正省エネ法も勘案して1998年度基準5年間でエネルギー

原単位及びCO<sub>2</sub>排出原単位を5%以上削減することを目標にしています。2000年度の実績は、内作生産高が減少したため、エネルギー原単位は1.5%増加しましたが、CO<sub>2</sub>排出原単位は1.4%減少しました。

また、2000年度のCO<sub>2</sub>排出量は、1990年度比13%低減しました。

CO<sub>2</sub>排出量推移  
(1990年度を100とした時の各年度の割合)



P33

## 作業環境管理

作業環境第3管理区分騒音職場を1996年度基準(118職場)2000年度

に半減する(59職場)目標に対し、2000年度の実績は37職場となり、超過達成することができました。

P39